

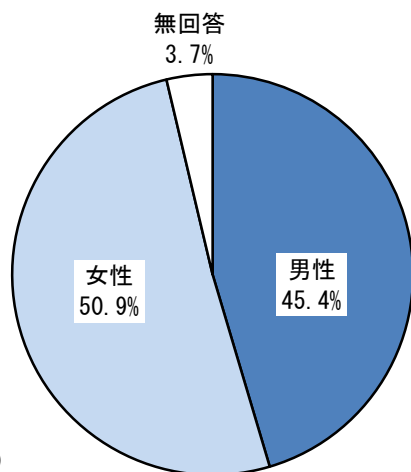
藤井寺市 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 <集計結果の概要>

<調査概要>

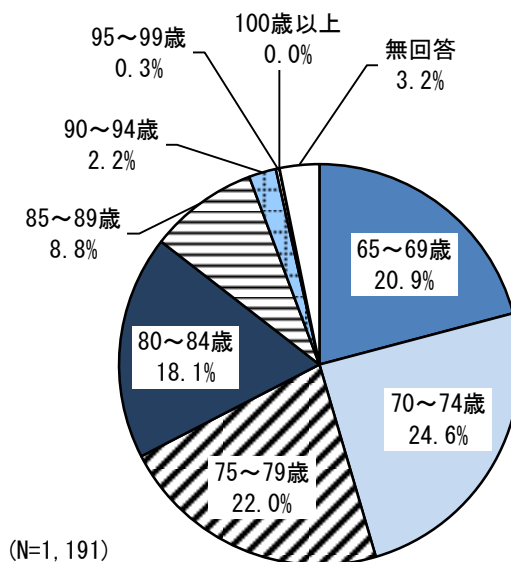
調査対象	市内在住、要介護認定を受けていない65歳以上の方 2,000人（無作為抽出）
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和4年12月5日～12月28日
回収状況	有効回答数 1,191件（回収率 59.6%） ※前回調査（令和2年）63.3%

◆調査対象者属性

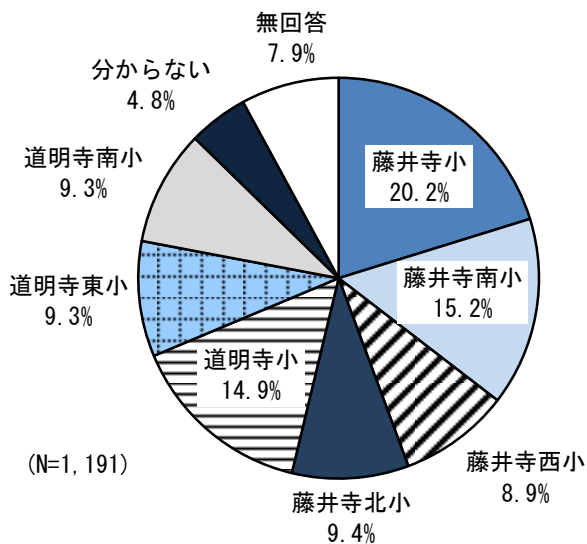
【性別】



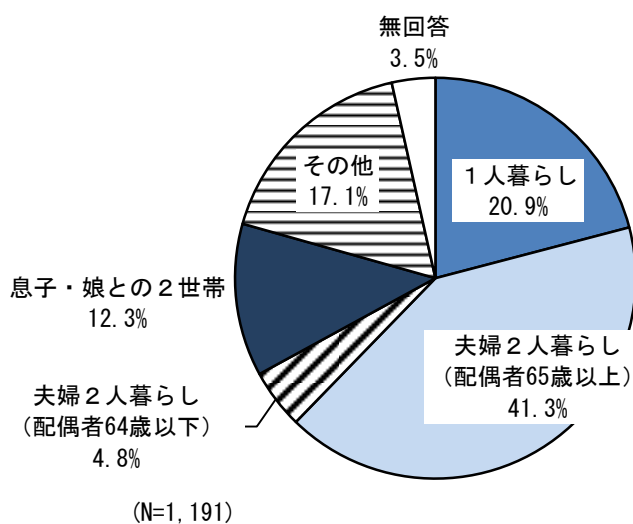
【年齢】



【家族構成】



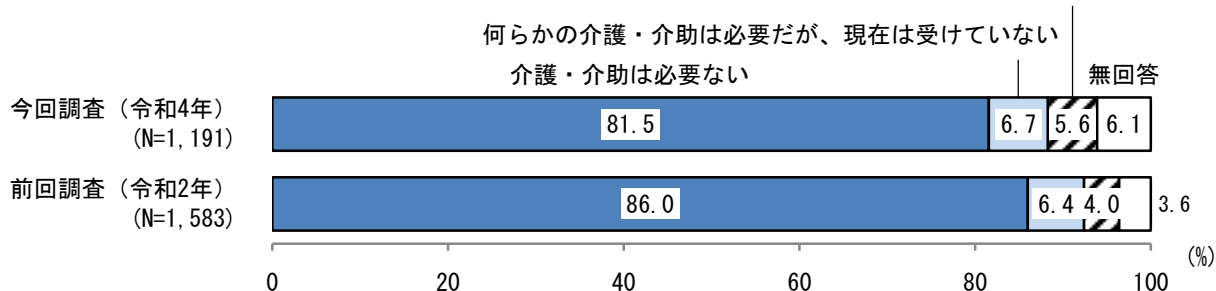
【居住地域】



【介護・介助の必要性】

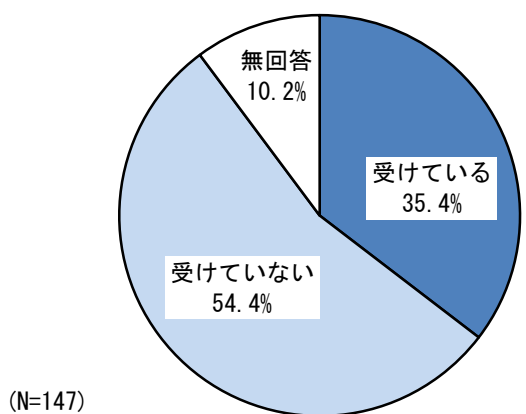
「何らかの介護・介助が必要」と回答した人は、合計 12.3%。

現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）



【要支援認定の有無】

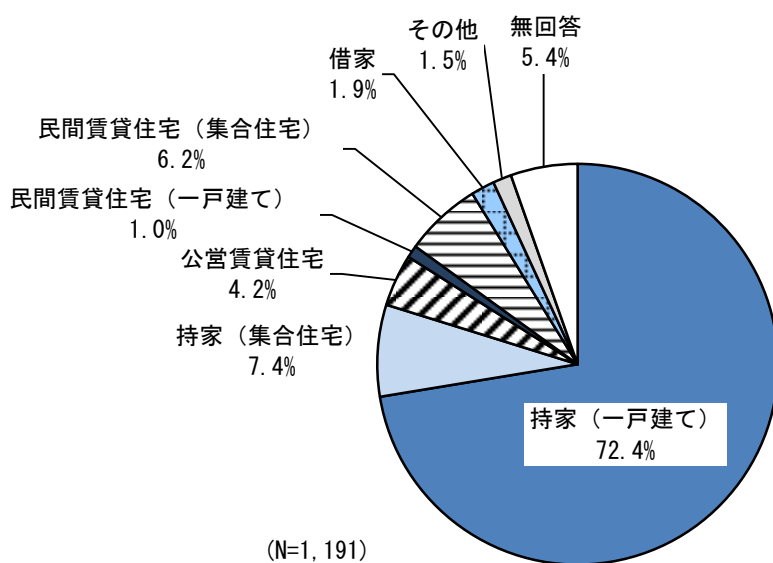
「何らかの介護・介助が必要」な人のうち、要支援認定を受けている人は 35.4%。



※「介護・介助が必要」と回答した人のみ集計

【住居形態】

「持家（一戸建て）」が 72.4%。

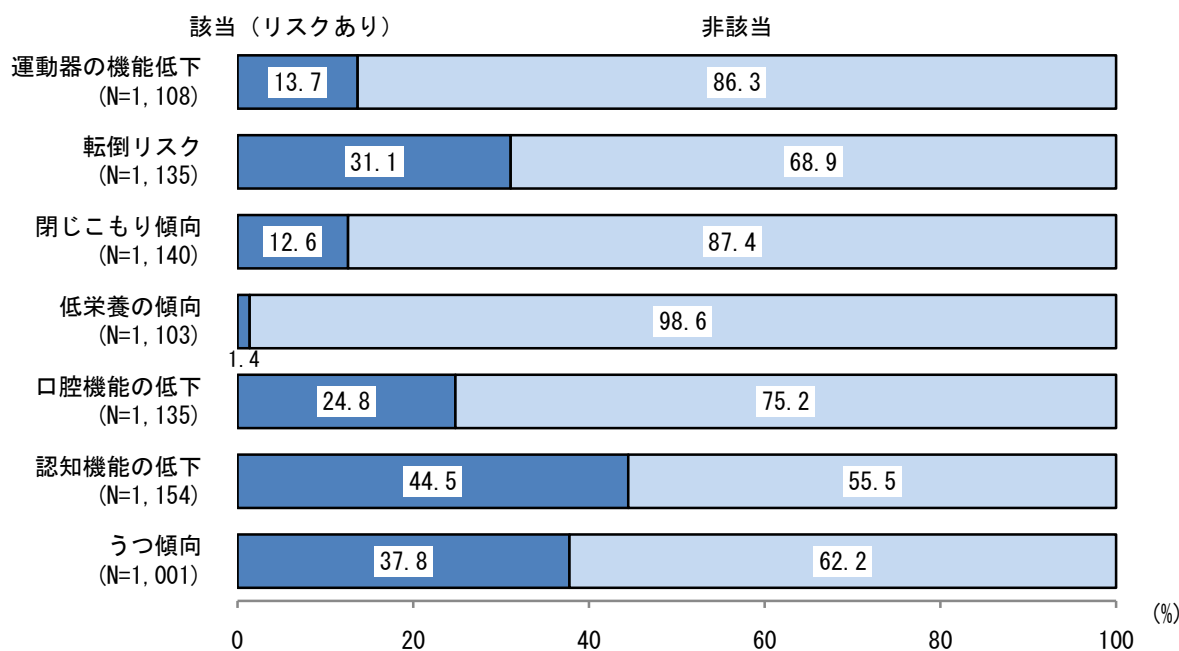


◆生活機能評価から／非認定高齢者のリスクの状況

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を「リスクあり」と判定。

項目	設問	該当する選択肢
①運動器の機能低下 ※5項目中、3項目以上 該当でリスクあり	問8 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか	「3.できない」
	問9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか	「3.できない」
	問10 15分位続けて歩いているか	「3.できない」
	問11 過去1年間に転んだ経験があるか	「1.何度もある」「2.1度ある」
	問12 転倒に対する不安は大きいか	「1.とても不安である」「2.やや不安である」
②転倒リスク ※該当でリスクあり	問11 過去1年間に転んだ経験があるか	「1.何度もある」「2.1度ある」
③閉じこもり傾向 ※該当でリスクあり	問13 週に何回外出しているか	「1.ほとんど外出しない」「2.週1回」
④低栄養の傾向 ※2項目とも該当でリスクあり	問17 BMI	18.5未満
	問24 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか	「1.はい」
⑤口腔機能の低下 ※3項目中、2項目以上 該当でリスクあり	問18 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	「1.はい」
	問19 お茶や汁物等でむせることがあるか	「1.はい」
	問20 口の渇きが気になるか	「1.はい」
⑥認知機能の低下 ※該当でリスクあり	問26 物忘れが多いと感じるか	「1.はい」
⑦うつ傾向 ※2項目中、いずれかに 該当でリスクあり	問59 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか	「1.はい」
	問60 どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか	「1.はい」

認知機能の低下、うつ傾向においてリスク該当者が4割前後。

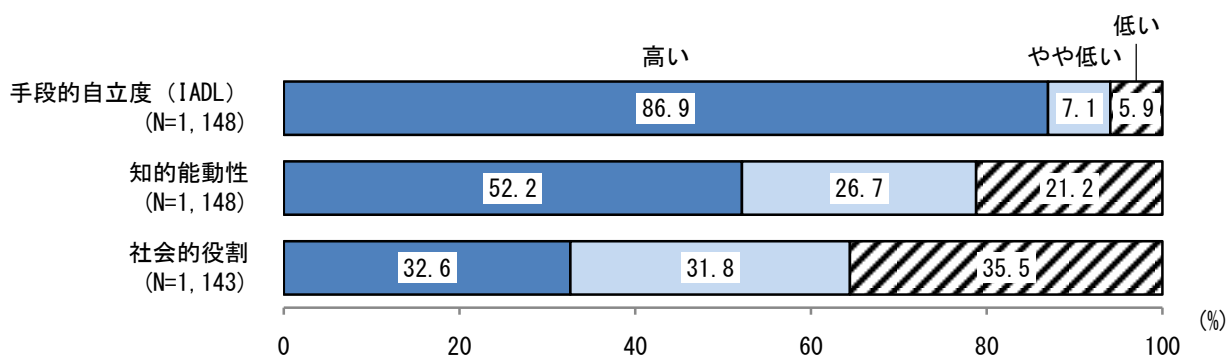


◆生活機能評価から／ 老研式活動能力指標

老研式活動能力指標に準じた設問に基づき、活動的な日常生活をおくるための能力（手段的自立度：IADL）、余暇や創作など生活を楽しむ能力（知的能動性）、地域で社会的な役割を果たす能力（社会的役割）が低下している人の状況を把握。

項目	設問	該当する選択肢
①手段的自立度（IADL）	問29 バスや電車を使って1人で外出しているか	5項目について、それぞれ「1.できるし、している」または「2.できるけどしていない」に該当で1点とし、計5点満点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価
	問30 自分で食品・日用品の買物をしているか	
	問31 自分で食事の用意をしているか	
	問32 自分で請求書の支払いをしているか	
	問33 自分で預貯金の出し入れをしているか	
②知的能動性	問34 年金などの書類が書けるか	4項目について、それぞれ「1.できるし、している」または「2.できるけどしていない」に該当で1点とし、計4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価
	問35 新聞を読んでいるか	
	問36 本や雑誌を読んでいるか	
	問37 健康についての記事や番組に関心があるか	
③社会的役割	問38 友人の家を訪ねているか	4項目について、それぞれ「1.できるし、している」または「2.できるけどしていない」に該当で1点とし、計4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価
	問39 家族や友人の相談にのっているか	
	問40 病人を見舞うことができるか	
	問41 若い人に自分から話しかけることがあるか	

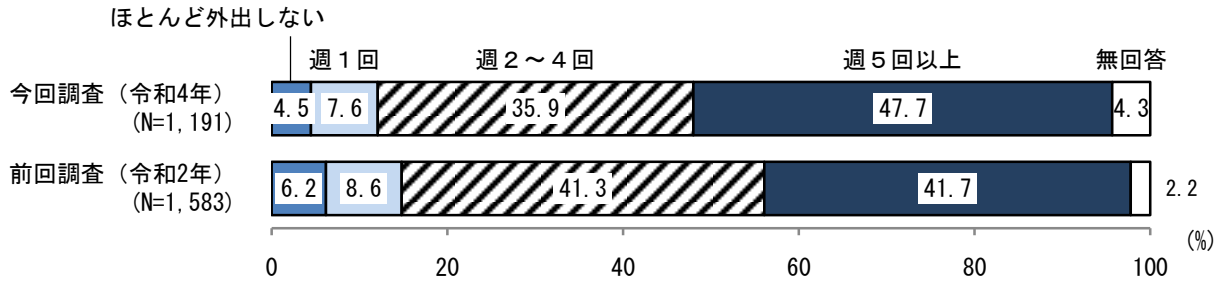
それぞれの能力が「高い」と判断された人は手段的自立度（IADL）で86.9%、知的能動性で52.2%、社会的役割では32.6%。



◆外出について

【外出の頻度】

「週5回以上」が47.7%、「週2～4回」が35.9%で、「週1回」以下は合計12.1%。

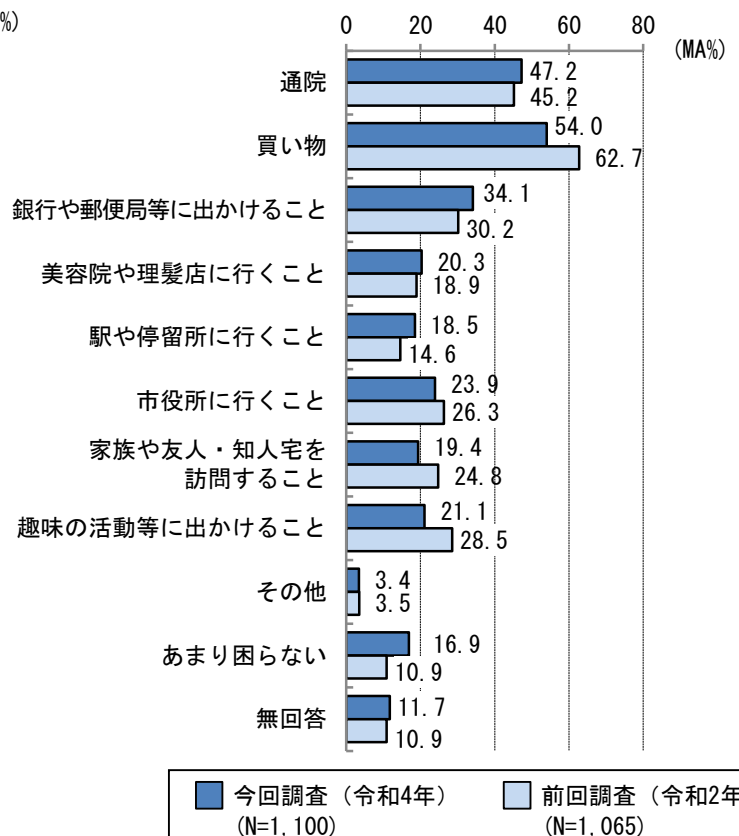
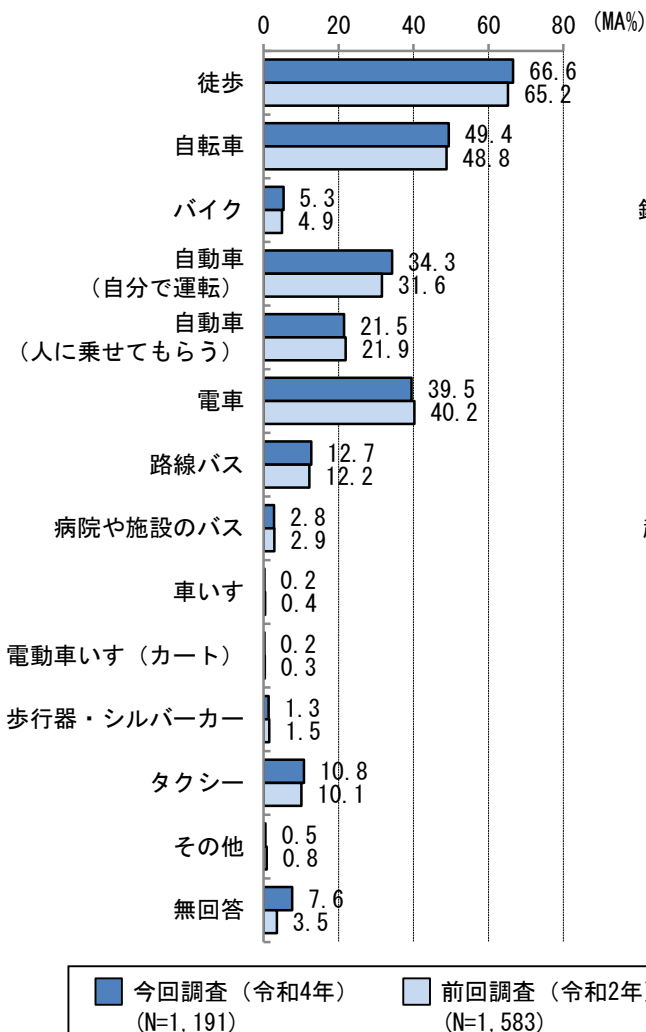


【外出する際の移動手段】

移動手段は「徒歩」66.6%、「自転車」49.4%。

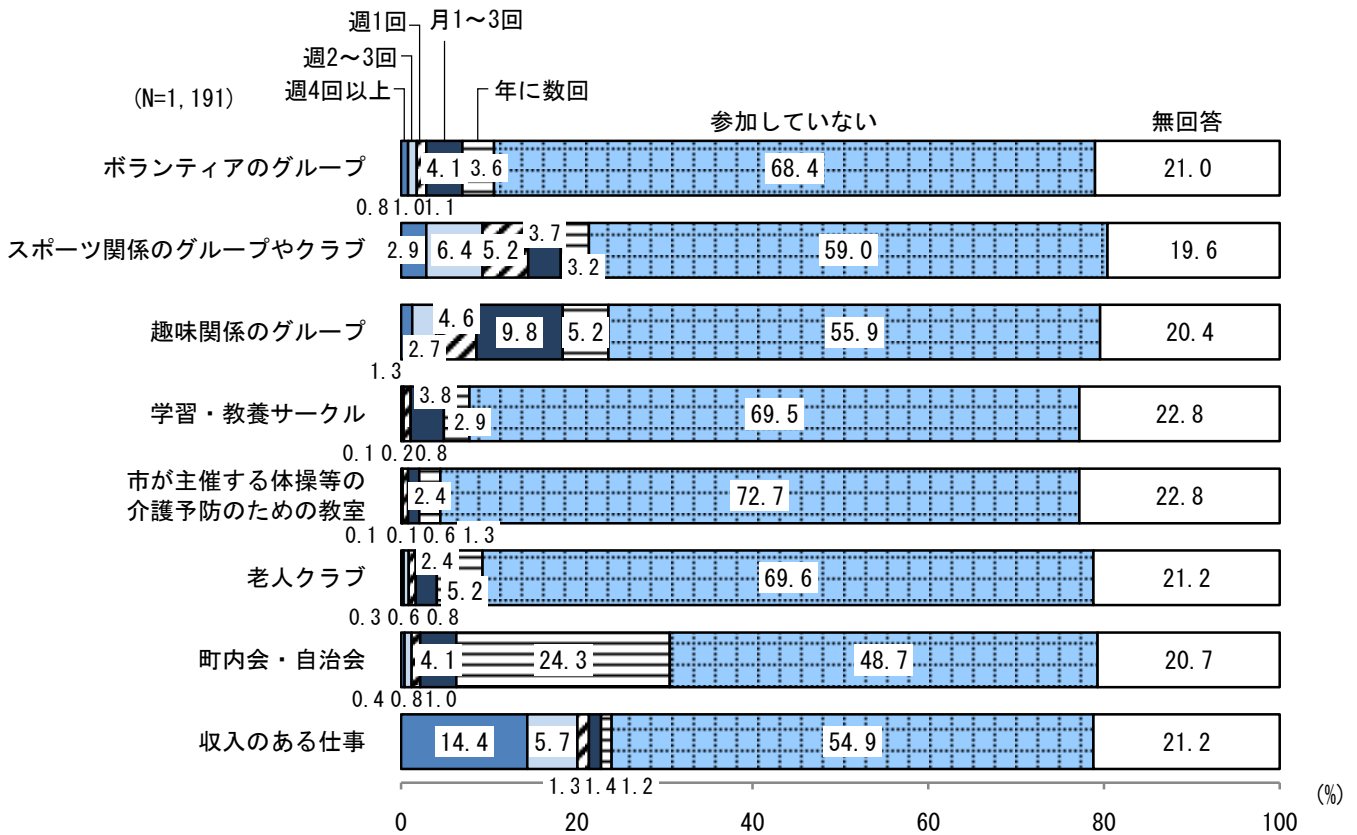
移動手段が利用できないと困ることは、「買い物」54.0%、「通院」47.2%。前回調査に比べて「買い物」が8.7ポイント、「趣味の活動等に出かけること」が7.4ポイント減少。

【移動手段がないと困ること】



◆地域の会・グループ等への参加状況

月1回以上の参加がみられるのは、「収入のある仕事」で22.8%、「スポーツ関係のグループやクラブ」で18.2%、「趣味関係のグループ」で18.4%。「町内会・自治会」では「年に数回」の参加が多い。



【「参加していない」 年齢別】

地域の会・グループに「参加していない」と回答した人を年齢別にみると、65~84歳までは「市が主催する体操等の介護予防のための教室」、85~89歳では「ボランティアのグループ」、90~94歳では「収入のある仕事」が最も多い。

	調査数	ボランティアのグループ (%)	スポーツ関係のグループ (%)	趣味関係のグループ (%)	学習・教養サークル (%)	市が主催する体操等の介護予防のための教室 (%)	老人クラブ (%)	町内会・自治会 (%)	収入のある仕事 (%)
全体	1,191	815	703	666	828	866	829	580	654
	100	68.4	59.0	55.9	69.5	72.7	69.6	48.7	54.9
65~69歳	249	198	176	168	200	211	211	140	105
	100	79.5	70.7	67.5	80.3	84.7	84.7	56.2	42.2
70~74歳	293	212	184	179	227	237	232	150	167
	100	72.4	62.8	61.1	77.5	80.9	79.2	51.2	57.0
75~79歳	262	165	136	133	161	179	166	115	149
	100	63.0	51.9	50.8	61.5	68.3	63.4	43.9	56.9
80~84歳	215	133	116	104	137	139	130	102	134
	100	61.9	54.0	48.4	63.7	64.7	60.5	47.4	62.3
85~89歳	105	62	53	50	61	57	51	46	60
	100	59.0	50.5	47.6	58.1	54.3	48.6	43.8	57.1
90~94歳	26	14	15	12	17	17	13	10	18
	100	53.8	57.7	46.2	65.4	65.4	50.0	38.5	69.2
95~99歳	3	2	2	2	2	2	1	2	2
	100	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7

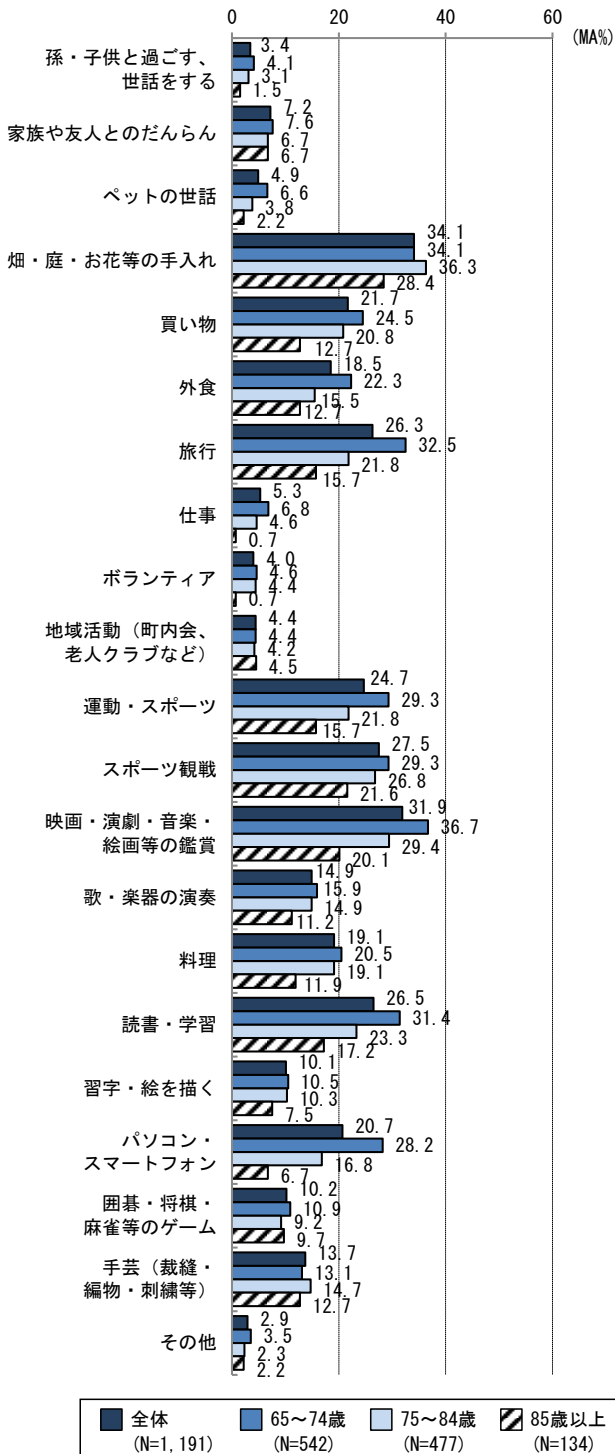
※100歳以上は0人のため割愛した。

◆趣味・生きがい

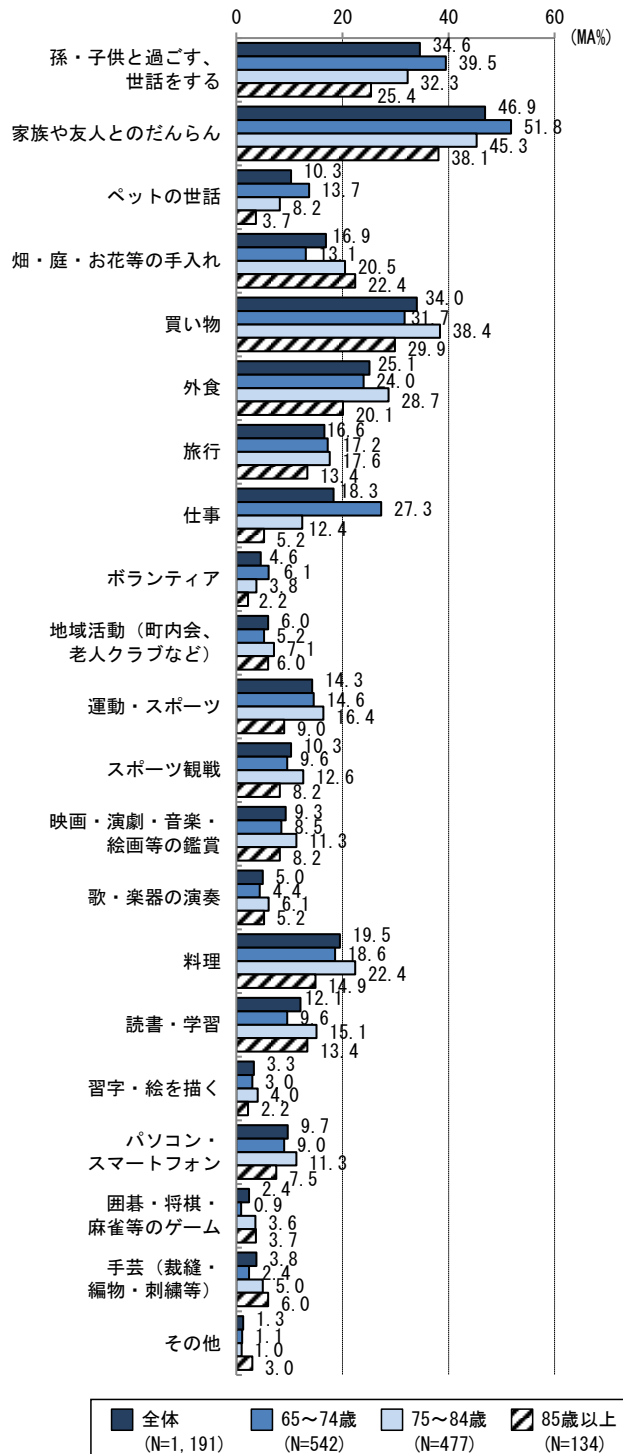
「趣味」で最も多いのは「畑・庭・お花等の手入れ」34.1%、次いで、「映画・演劇・音楽・絵画等の鑑賞」31.9%。

「生きがい」で最も多いのは「家族や友人とのだんらん」46.9%、次いで、「孫・子供と過ごす、世話をする」34.6%、「買い物」34.0%。

【趣味】



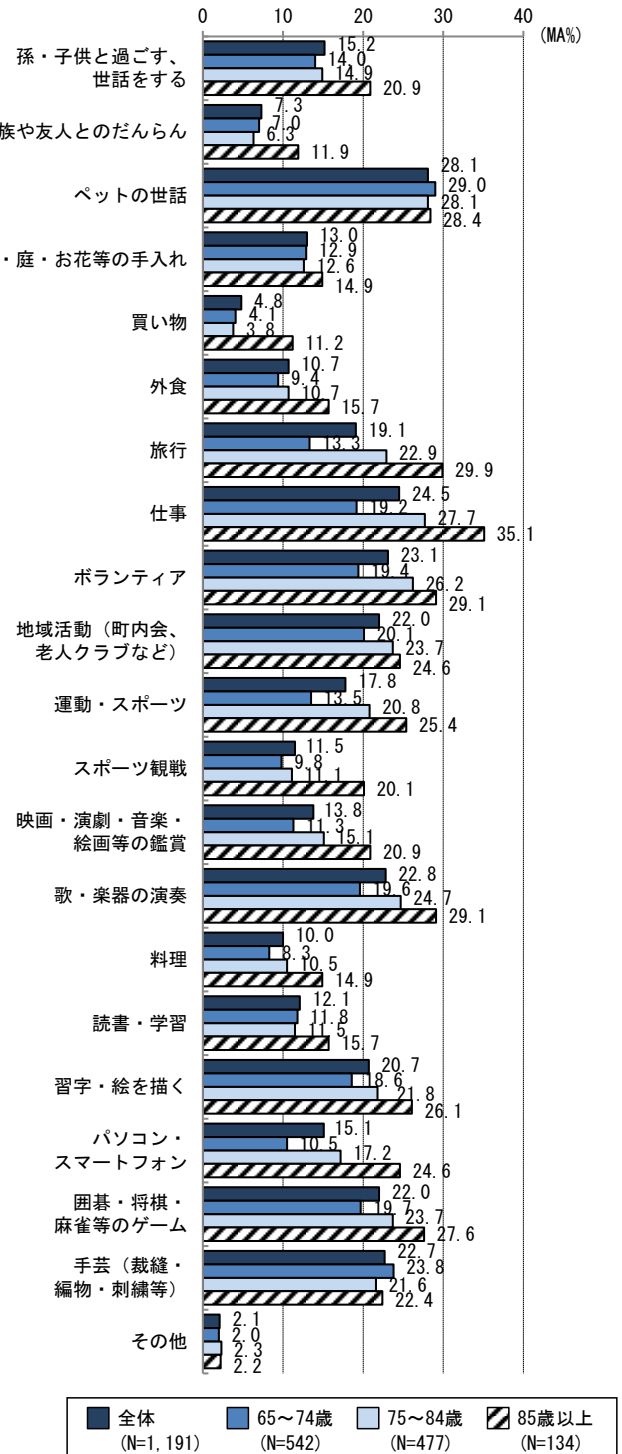
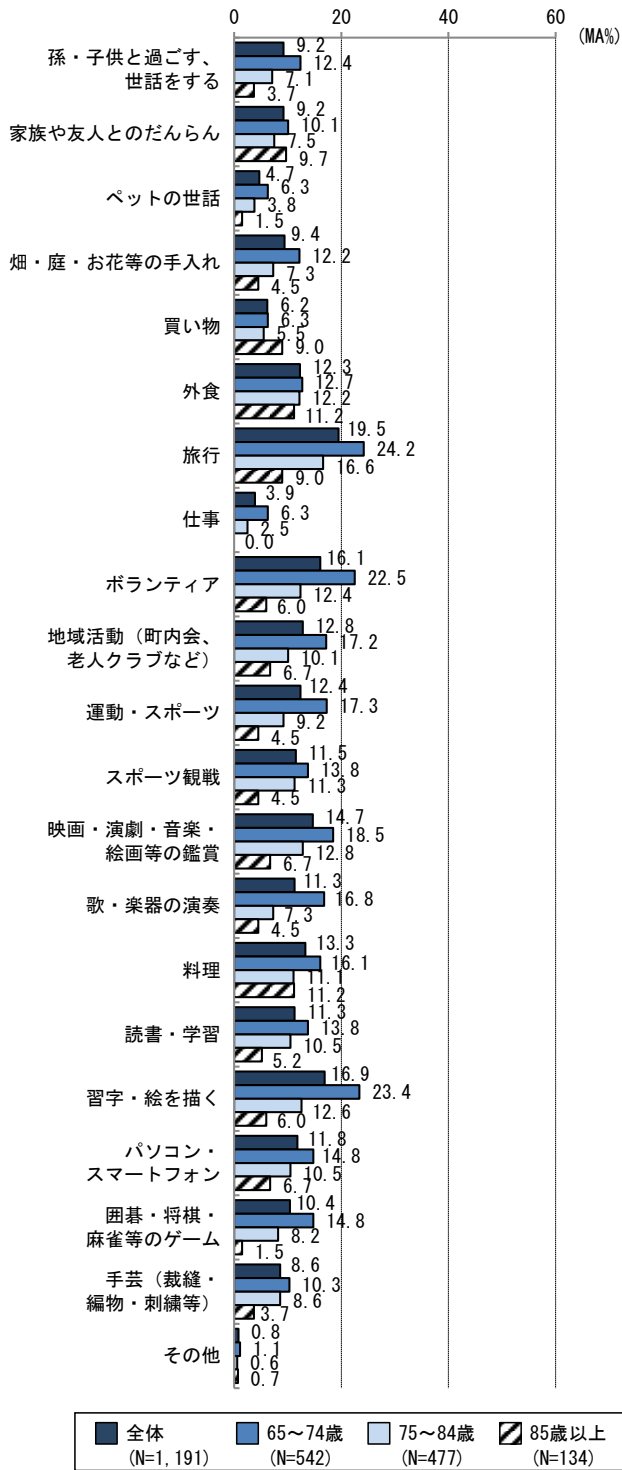
【生きがい】



「今後やってみたい」もので最も多いのは「旅行」19.5%、次いで、「習字、絵を描く」16.9%、「ボランティア」16.1%。
 「やりたいが諦めている」もので最も多いのは「ペットの世話」28.1%、次いで、「仕事」24.5%、「ボランティア」23.1%。

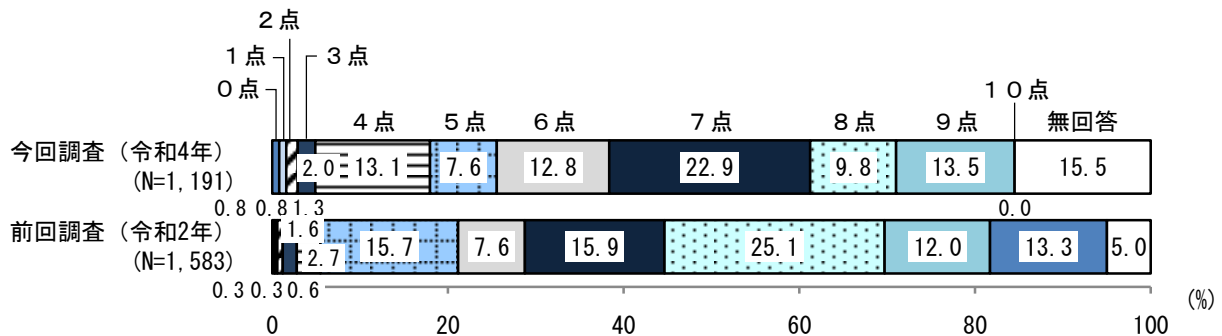
【今後やってみたい】

【やりたいが諦めている】



◆現在の幸福度

現在の幸福度を10点満点で評価してもらったところ、「7点」が22.9%と最も多く、次いで、「9点」が13.5%、「4点」が13.1%。平均は6.4点と、前回調査の7.3点に比べて0.9点下がっている。

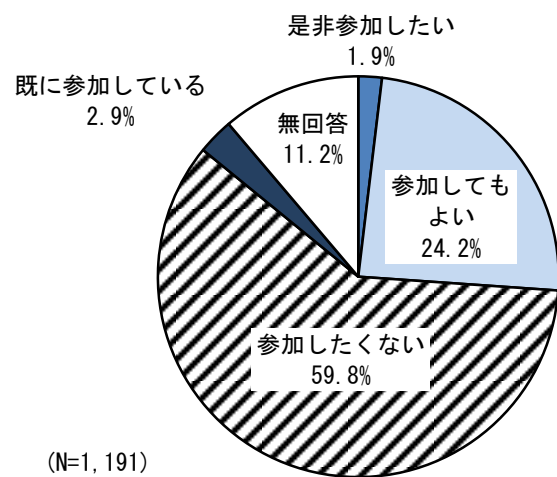
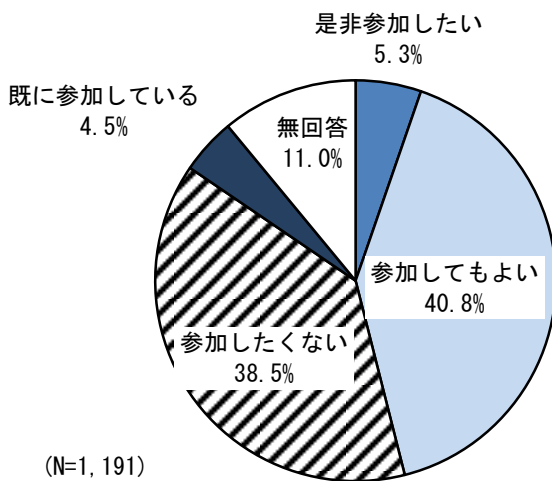


◆地域づくりの活動への参加意向

【参加者として】

参加者としては「参加してもよい」が40.8%、「参加したくない」が38.5%。
お世話役としては「参加したくない」が59.8%と多い。

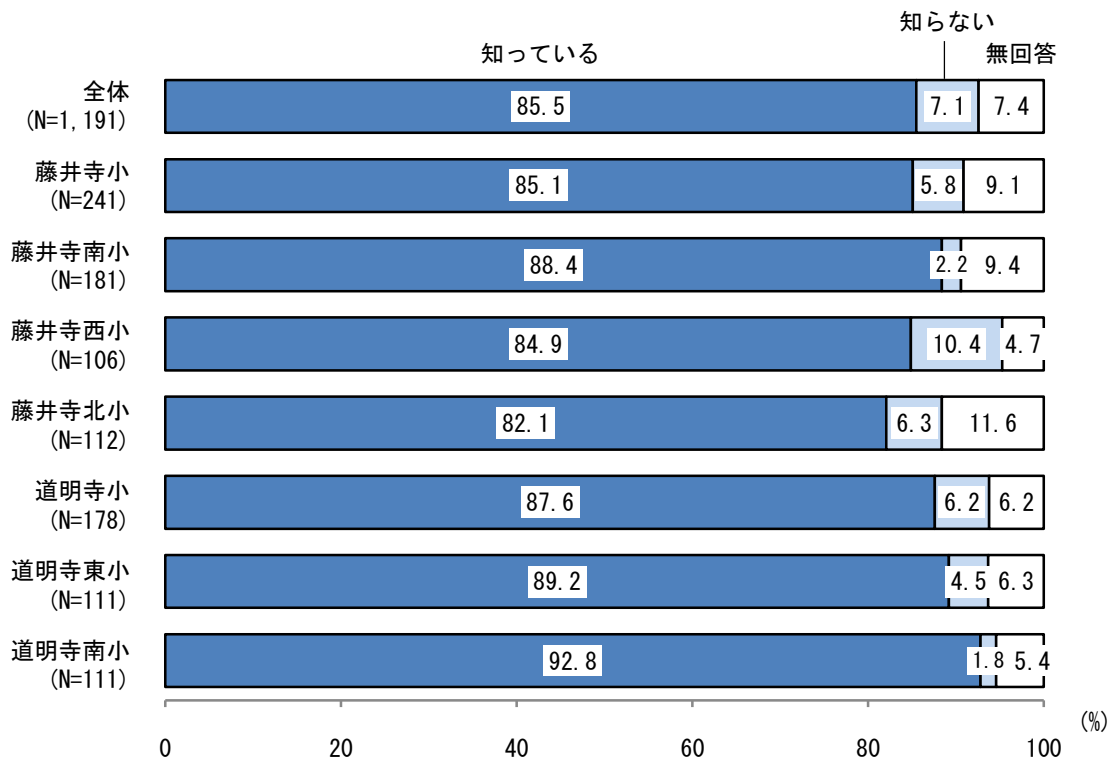
【企画・運営（お世話役）として】



◆地区会館での活動について

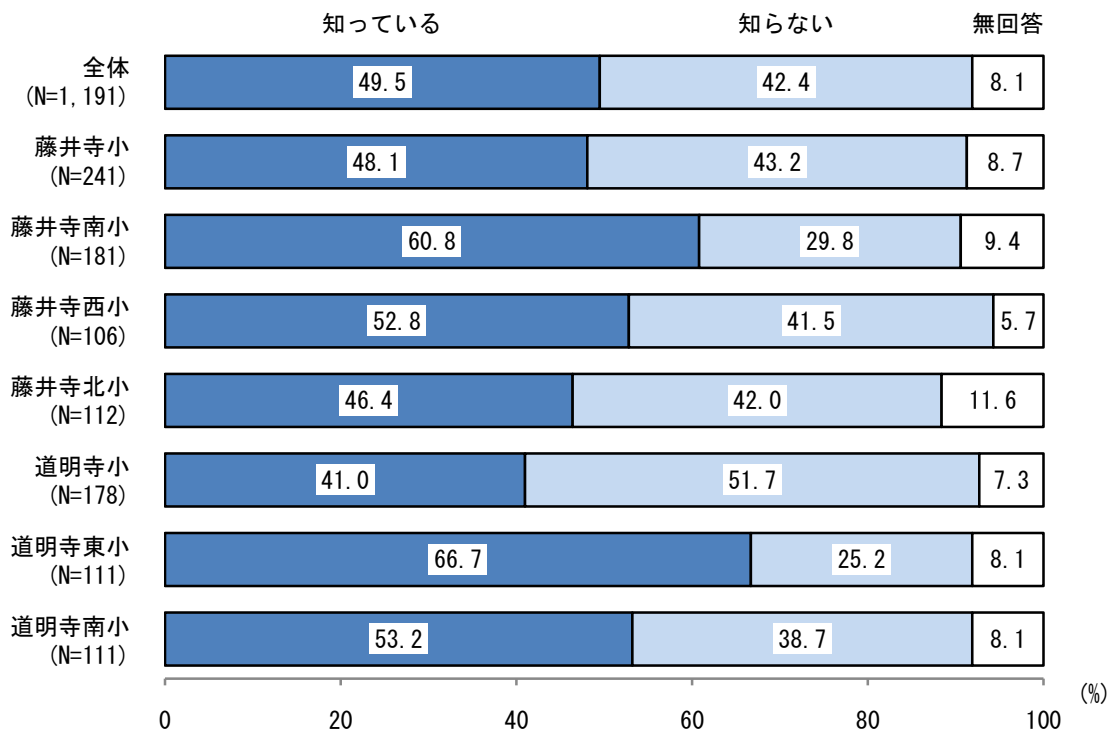
【場所の認知】

地区会館がどこにあるかを「知っている」人は 85.5%。



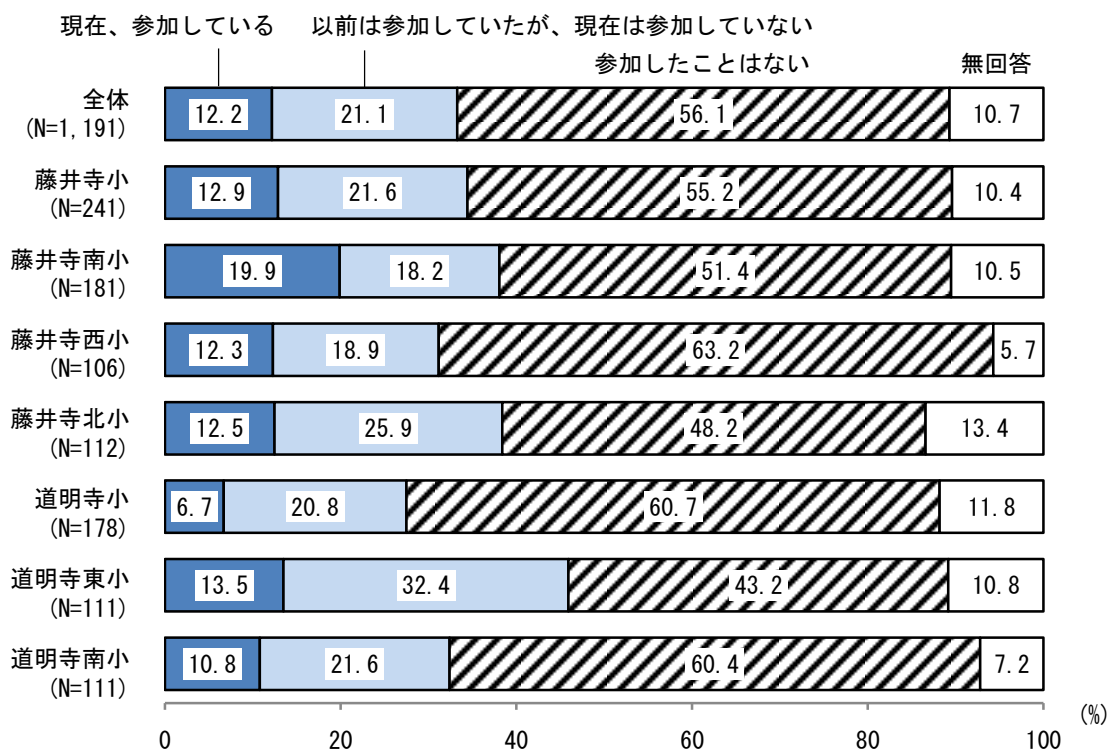
【活動内容の認知】

地区会館でどのような活動が行われているかを「知っている」人は 49.5%。



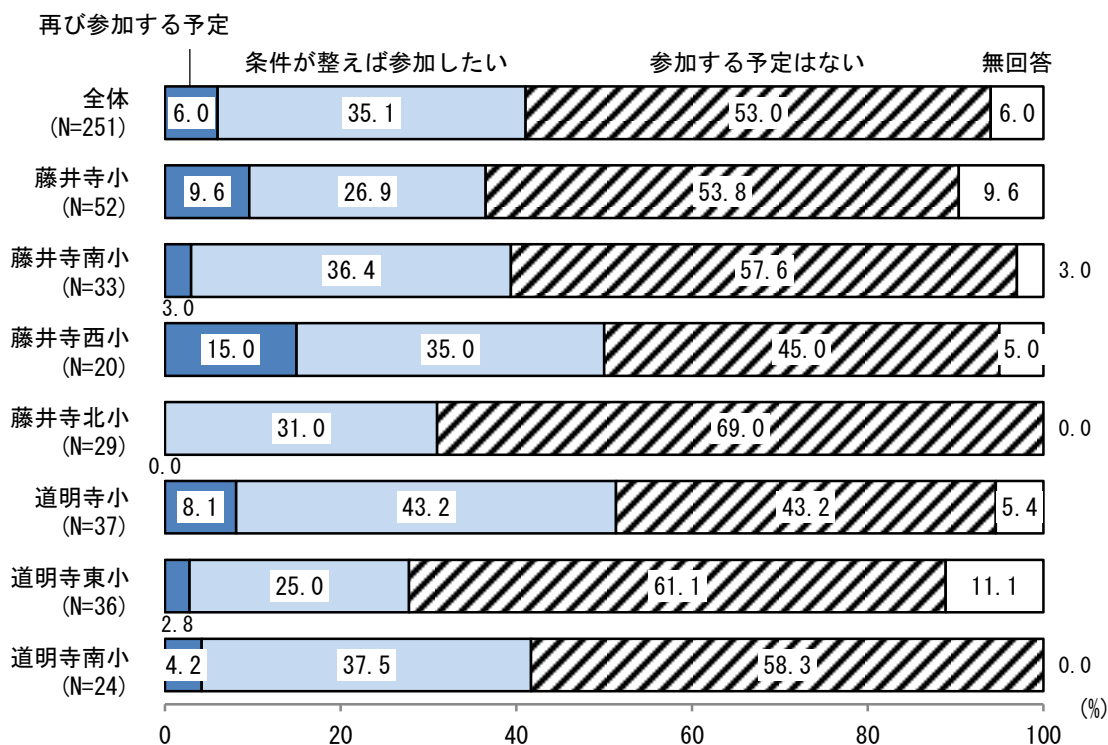
【活動への参加状況】

地区会館での活動に「現在、参加している」は12.2%。「参加したことはない」が56.1%。



【今後の参加意向】

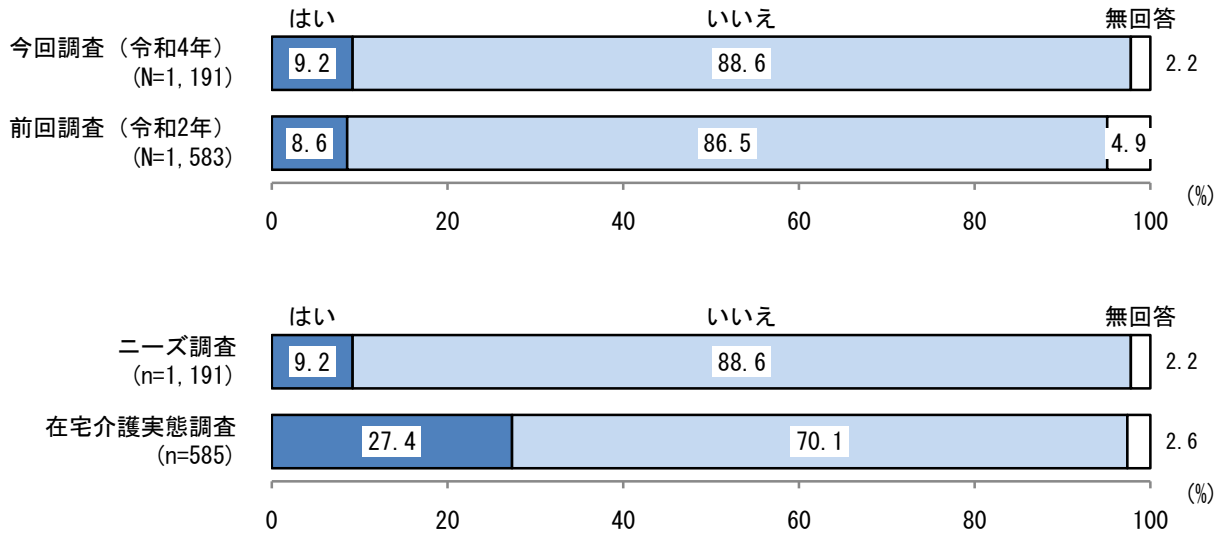
「以前は参加していたが、現在は参加していない」人で、今後、参加したい気持ちのある人は合計41.1%。



◆認知症について

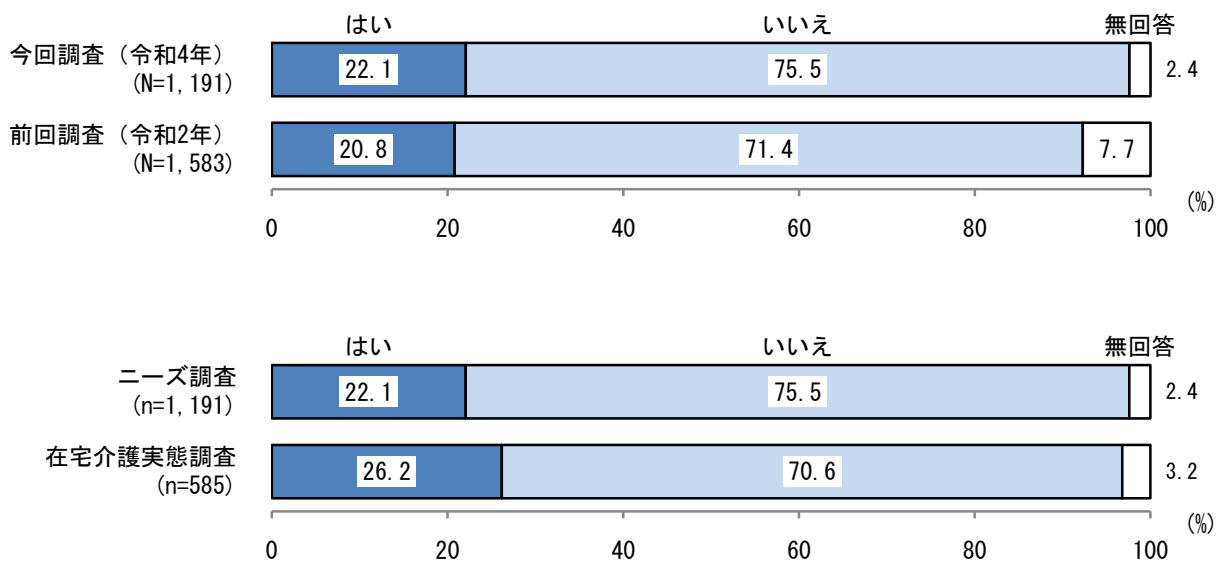
【認知症の有無】

自身や家族に認知症の症状がある人が「いる」は9.2%。



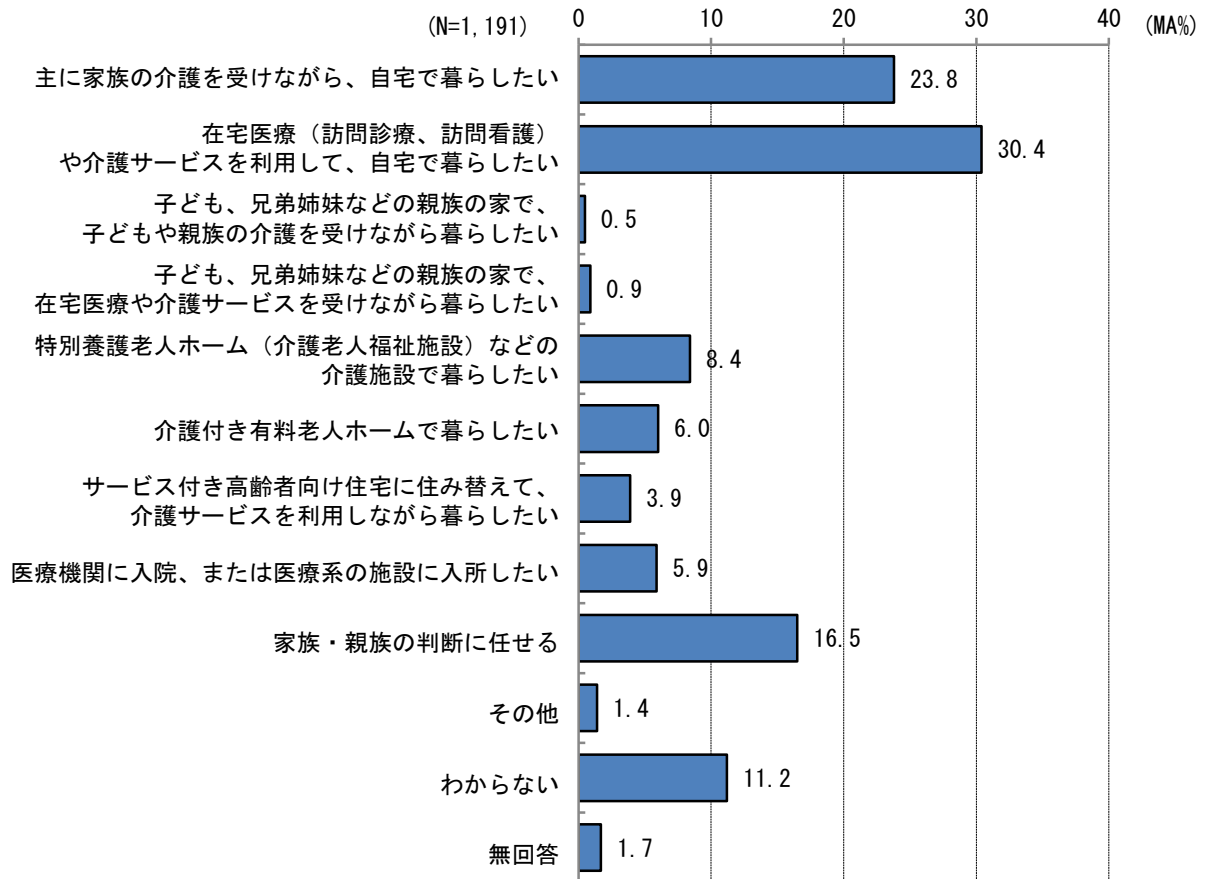
【認知症相談窓口の認知状況】

認知症相談窓口を知っている人は22.1%。



◆今後の住まいの意向

療養や介護が必要になった場合の住まいについては、「在宅医療（訪問診療、訪問看護）や介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が30.4%と最も多く、次いで、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が23.8%と、自宅での生活を望む人が多くなっている。



※複数回答も有効として集計。